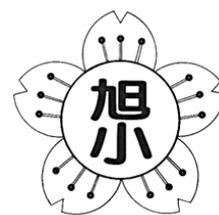


旭小学校

かわら版

学校通信

- ・すすんで学ぶ子
- ・きまりを守る子
- ・心身をきたえる子
- ・まじめに働く子
- ・なかよく協力する子



令和元年 7月18日号



金管バンド活躍

13日(土)に太田祭り南会場のオープニングで金管バンドが演奏を披露しました。九合地区5つの小中学校の金管、吹奏楽部が駅前交番の交差点に集結し、各校が交代で演奏して、まつりに花を添えました。

この日のために、放課後練習を行ってました。これからも地区の行事やコンクールなどで演奏します。

夏休みに向けて

ネットとの正しい付き合い方

9日(火)に太田警察署生活安全課の方を講師に迎え、5, 6年生対象の「情報モラル講習」が行われました。スマホをはじめゲーム機など情報機器は便利な道具です。しかし、簡単に世界中とつながってしまうため、危険と隣り合わせでもあります。夏休みは、長時間ネットやゲームの虜になってしまうこともあります。正しい使い方をご家庭でも再度話し合ってみてください。合い言葉は「おぜのかみさま」です。



着衣泳体験

夏は水難事故も多い時期です。そこで、万が一海や川などの水中に落ちた場合を想定した着衣泳を授業で体験しています。水着の上に体操着を着て水中での感覚を体験するものです。「思ったより服が重かった」という感想がありました。落ちないように水辺では注意をすることはもちろんです。しかし、落ちてしまった場合は落ち着いて救助を待つことを知っただけでも万が一に対処できます。

大掃除

16日(火)の午後1学期間お世話になった教室の大掃除をしました。いつもより時間をかけて隅々まできれいにしました。子どもたちの下校後、各担任がワックスを掛けてきれいにしました。

使った物や場所をこうして時々手入れをすることは、大事な生活習慣だと思います。夏休み中各ご家庭でも子どものできる範囲で家事に参加させてみてください。



有意義な夏休みを なぜ、夏休みはあるのでしょうか。

暑さをしのぐだけならば、エアコンがある現代は長期の休日は必要ありません。

(1) 学校へ来ないことによってしかできないことをする

長期休業中は、自分(家庭)の考えでじっくりと取り組みたいことを行うことができます。旅行、趣味、親戚や地域との交流なども教科の学習だけでは得られない貴重な体験の機会となります。また、授業のない時期だからこそ、じっくり自分のペースで学習にも取り組むことができます。時間のかかる図作品や良書に触れて読書感想文を書くなど、普段なかなか取り組めないものに挑戦してみてください。

(2) 子どもは学校教育の枠だけでは育たない

現代のように全ての子どもが学校に通うようになったのは、ここ百数十年のことです。人間は学校がない昔から、地域の中で学び、文化や技術を創り出してきたのです。ですから、子どもたちが人格を高めるには、学校教育の枠だけではなく、たくさんの経験が必要です。そこで、お祭りなど地域の行事に参加したり、親戚の家に出かけたりして、普段交流のない人やもの、文化とふれあうことが大切です。

(3) 気持ちを切り替える機会(リセット)が必要

同じ生活を続けていると、どこかで慣れや疲れなどが出てきてしまいます。

そこで、それまでの生活を一度リセットして、気持ちを新たにするキッカケが必要なきもあられるでしょう。大人だって古来からお正月やお盆という慣習を利用してきたのです。

太田市では夏休み期間中の8月13～16日と前後の土日を含め9日間、学校を完全に閉庁します。この期間職員は勤務していません。緊急事態のためどうしても学校に連絡をしなければならない場合には、太田市教育委員会学校教育課(20-7084)が平日の8:30～17:15の間対応いたします。